

# Handsome

March 2014 No.304

実行力  
「人こそが最大の財産」  
Positive Forward  
自ら進んで一歩を踏み出す

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳  
◆編集責任者/担当 副会長 福庭貴志 ◆制作・編集 第39期広報委員会/委員長 生田育永

## 第40期 次年度会長決定！

### 後藤太良 次年度会長のプロフィール

【氏名】後藤太良

【生年月】昭和47年1月生まれ 42歳 山羊座 B型

【所属企業・役職】ティーエーアイ株式会社 代表取締役

【入会年度】平成12年度(平成13年2月入会)

【中央会経歴】平成15年度 副委員長/平成18年度 委員長  
/平成22年度 副会長/平成24年度 副会長/平成25  
年度 監事

【趣味】風呂

【座右の銘】行ったら



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第40期会長に承認いただきました後藤太良です。どうぞよろしくお願い致します。2月17日 臨時総会を迎えるにあたり不安と緊張で頭がおかしくなりそうでした。そんな中、会員の「異議なし」の大きな言葉を耳にし、「もういったれ！」と決意をあらたにいたしました。

平成13年2月に当会に入会をさせていただき、13年の月日が流れました。たくさんの先輩方、後輩にいろいろなことを教えていただき、また助けていただきました。今の自分があるのも、この西部青年中央会のおかげです。その会に何か少しでも恩返しができるかと思ひこの話をお受けいたしました。

今後、来期に向けいいスタートをきるべくしっかりと準備をさせていただきます。会員全員が一丸となり、精一杯 魂を込めて活動をしてまいります。至らぬ点など有るかと思ひますが、皆さまのご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。

39期の活動も残り4カ月となり、各委員会ともまとめに向け精一杯活動しております。また、40周年事業も控えており会員全員が事業の成功を目指し頑張っております。今後ともご協力の程、よろしくお願い致します。

### 先輩OBより「お祝いと激励」

武海 章OB(第32期ご卒会)

将来を思い、失敗を恐れずチャレンジする事が今でも青年中央会の美学であれば、様々な人材にチャンスを与えて育てていくのは、会を牽引する立場であれば当然の使命だと思う。後藤君には、積極的な会員の意識改革を期待している。しかし決して無理をせず、「一時一事」の精神で、目の前の課題や問題をひとつずつ解決して進んでほしい。そう、始まりがあれば必ず終りが来るのだから。本当におめでとう。

水 康德OB(第35期ご卒会)

私は次年度会長が委員長の際、担当副会長をさせていただきました。サムライ宣言から始まり、型に収まらない事を良しとして、1年間、副委員長や委員会メンバーにも恵まれ、委員会は盛り上がりました。そして充実した1年間の活動を報告する6月例会。そこで彼がとった行動は全会員に衝撃を与えたと記憶しています。“夢”のある、あの時のような規格外の発想と行動力で次年度の青年中央会を盛り上げてくれる事を期待しています。

# 2月オープン例会開催「地域活性」

～エコツーリズムから  
地域づくりを考える～

平成26年2月18日(月)、ビジネス経営委員会担当の2月オープン例会が、ふれあいの里にて開催された。



初めに、渡辺会長より、今期のスローガンの中のPositive Forwardとは積極的に前へ進んでいくことであり、この言葉を胸に、躊躇ったりした時は、敢えて違うことを考えたり気分転換を行なうなどし、逆境を順境に変えて前進して頂きたい旨の挨拶があった。



続いて、新入会員バッジ授与が行なわれ、福島会員・真山会員・田中会員の3名より頑張っていきたい旨の挨拶が行なわれた。また、竹ノ内会員・内田会員よりお子様誕生の嬉しい報告もあった。



委員長タイムは、絆委員会の辻委員長が行ない、お世話になった委員長へ突撃訪問ということで、29期総務委員長の福田〇B並びに31期ビジネス交流委員長の板垣〇Bへ突撃訪問を行なった模様を報告された。両〇Bからは、中央会の魂を忘れず頑張りたい旨のお言葉を頂き、引き続き頑張っていきたい旨を述べられた。

続いて、福庭副会長が議長に選任され臨時総会が行なわれた。議案として次年度会

長指名推薦の件が上程され、会員全員の異議なしの声のもと満場一致の可決により次年度会長は後藤太良会員が選任された。

その後、遠くは鳥取市や島根からも来て頂いた160名に及ぶ一般の方が入場され、会員全員で拍手でお迎えし、株式会社モンベル代表取締役会長・辰野勇氏を講師にお招きして「地域活性・エコツーリズムから地域づくりを考える」を主題とした講演が行なわれた。株式会社モンベルは、アウトドア環境整備並びにアウトドア商品製造を主とし、従業員数1600名・国内店舗90店・売上は500億円にもなる日本有数の企業であるが、元々は自然を愛する講師が38年前に一人で起業したのが始まりである。物販販売だけに頼ることなくモンベルクラブという会員数47万人による下支え



の制度もつくり企業強化も行なっている。講師からは、本日聴講された方は必ずモンベルクラブに入会して頂きたいと会場の笑いを誘う場面もみられた。株式会社モンベルと鳥取西部地域との取り組みであるが、講師にとって大山の北壁は青春の思い出であり、地元からの要望もあったことから大山に店舗を出店したところ大成功、一時期は一坪あたりの売上げが渋谷谷を越えたこともあったという。その大成功の噂を聞きつけた人口7859名の北海道上川郡東川町から株式会社モンベルへ熱いコールがあり、モンベルひがしかわ店を出店したところ、今までは東川町から近郊大都市への人口流出に悩んでいたものが、一転、大都市から東川町へと人口が増えたという嬉しい現象が起きたという。ひとつの店舗ができることにより街が活性化し命を吹き返すというのは、経営者としては



感慨無量な事ではないかと思う。さらに、株式会社モンベルでは海と山を繋ぐ「SEA TO SUMMIT」という大会を行っている。カヤックを使い海から里へ、自転車に乗り里から山へ、山をハイキングをしながらゴールへと向う、自然のつながりや大きさを感じさせてくれる日本発のスポーツイベントであり、2009年に皆生・大山にて初大会が行われ、今では全国6地域17大会にまで広がっているという。「SEA TO SUMMIT」の話聞きながら、民間の力で始まった全日本トライアスロン皆生大会と重ね合わせながら聞き入っていた中央会会員並びに観客も多かったのではないかと思う。今回の講演は、行政に頼ることなく民間の柔軟な発想で地域の自然をアウトドアスポーツを通じて観光資源に変えていく発想性、自然は日本国中何処にもあるもので特別なものではなく、それをどういうシステムにして売るのが大事であるという重要性、更には異業種がコラボレーションすることでの化学反応など、私たち中央会会員並びに参加された一般の方たちにも大変興味深い有意義な時間であった。(記事:廣谷)

## 例会を終えて… ビジネス経営委員会 委員長 秋里 武信



エコツーリズムを題材に、この地域に住む皆様と一緒に「地域づくり」を考えることを目的としたオープン例会。地域活性というテーマで辰野会長よりご講演いただきましたが、地域の取り組みだけではなく、企業としての取り組み、自然保護に対する取り組みなど、どれも感慨深いお話でしたので、ご来場いただいた皆様が何かしらのヒントを持ち帰られる内容であったと思います。

また辰野会長には懇親会にもご参加いただき、貴重なお話、さらには笛の演奏まで聞かせていただくことができました。ちなみに「辰野会長は、気分がいい時にしか笛は吹かない」とのこと・・・照明操作、アンケートの回収など反省点はありましたが「やって良かった」と思える例会ができました。

多数のご来場、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



# 鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会 平成25年事業スポーツ交流会

平成26年2月8日(土) ぞらドラパーク米子市民体育館にて鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会 平成25年事業スポーツ交流会が開催された。



今年度は米子青年会議所青年部(以下米子YEG)が主幹団体となり、一般社団法人米子・境港商工会議所混成(以下米子・境港JC)、鳥取県西部中小企業青年中央会(T.S.C)の3チームに分かれ開会。

冒頭に米子YEG西澤会長より「前年度主幹の境港JCさんからの流れを絶やさないう今年度もお互いの交流と親睦を図っていききたい。」と挨拶をいただいた後

フィットネスクラブPAJAさんから指導をいただきながら念入りにウォーミングアップ。

「何を入れるの?」「フエーデンリレー」「デリーレース」「ガチンコ!綱引き」「早く入れてよ!アンパーンマン」と趣向を凝らした5競技を意地とプライドをかけて熱い戦いを繰り広げた。特にガチンコ!綱引きは選手、応援には熱が入り、日頃の運動不足を嘆く選手が続出?



結果は第1位米子YEG、第2位T.S.C、第3位米子・境港JCの順位で交流会は閉会された。

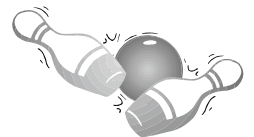
その後、米子ワシントンホテルプラザに開場を移し境港JC小坂理事長よりご挨拶、米子JC山本理事長より乾杯のご発声をいただき賑やかに懇親会がスタート。会場はテーブルごとに名刺交換をする会員の姿が多く見られまた、会長、理事長より各団体の活動をPR、アトラクションも行われ会場は盛り上がりを見せる。



T.S.C渡辺会長より「鳥取県西部地区4団体が交流を図りってこそ地域が盛り上がる。」と閉会の挨拶があり懇親会は閉会された。(記事:長谷川洋)

イベント突撃  
レポート!  
No.1

## 中海テレビボーリング対決



2月5日(水)、クイーンボウルにて米子YEGとのボーリング対決が開催され、西部青年中央会から渡辺会長、北口直前県会長、松田実行委員長が選手として参加しました。

中海テレビを通じての40周年記念事業PRの一環ということもあり、3人も気合十分で対決に臨みました。また当日は20名以上の会員が一夜限りの大応援団を結成し、応援にも熱が入りました。

5回目のラウンドが終わった時点で70対52と、前半戦は西部青年中央会がリードする格好となりました。後半、米子YEGの追い上げもあり予断を許さない状況でしたが、最後は134対101で西部青年中央会が勝利を飾り、40周年記念事業に向けて弾みをつけることができました。(記事:小林)



## 言わしてごしない

障がい者の賃金アップの現状とこれから

～就労施設の課題(前編)～

広報委員会 小谷 泰樹

ある仕事がかっかけて記事のテーマである障がい者就労支援に関わることになったのですが、経験のない私からしてみると不思議に思うことが多くありました。そしてその疑問を関係者にぶつけると多くの人が同じ疑問を持っていることに気づきました。さらに印象的だったのは皆さんの「関心を持ってくれてありがたい」という姿勢でした。そのことは役所の担当者においても変わりありませんでした。それは、実はそれだけ社会が関心を持っていない事の裏返しだと思います。読者の方々には多種多様な意見があると思いますが、この問題について「まず知ってもらうこと、まず考えてもらうことが大切である」と考えましたので関係者の話を基に前後編に分け、本誌にてレポートしたいと思います。

障がい者就労施設における「工賃」倍増計画の結果は平均工賃月額12,222円(18年度)から13,586円(23年度)とわずかな伸びに留まった。昨年度からは新たに「工賃」向上計画が実施されているがその名称変更からしてトーンダウンは否めない。障がい者の経済的な自立支援には計画の推進が急がれるが、どのような課題があるのだろうか。

障がい者施設にはいくつもの種類がある。「工賃向上計画」の対象となるのは主

に就労継続支援B型事業所といわれる施設で、一般企業で雇用契約を結び就労することが困難な比較的、重度の障がい者が多く通っている。

施設に通う障がい者の工賃(賃金)は施設で生産、販売された製品の利益で決まる。

施設の運営費は国から給付されるから製品の販売利益は作業に従事した障がい者に直接的に還元される仕組みだ。従って、「工賃向上計画」の要は施設への発注量を増やすことにある。

しかし、ある施設の運営スタッフは「我々は営業が下手なんです」と言う。施設の運営スタッフはもともと福祉関係の職に従事してきた人が多く営業経験に乏しい。仕事を増やしたくても誰にどのように営業していいかわからないのだ。しかし、このような問題意識のある施設ばかりではなく、むしろ仕事を獲ってくることに消極的な印象を受ける施設もある。

というのは施設側からすると障がい者は「守るべき人たち」であり施設は働く場というより障がい者にとっての「居場所」であるという意識が強いからだ。「仕事を増やして障がい者に負担をかけられない」という声も聞く。

もう一つの問題は、作業で得た利益は作業に従事した障がい者本人に分配される仕組みなので施設の収益に直接にはリンクしない点だ。だから、施設側としては慣れない営業活動をしてまで仕事を増やすことになかなか積極的になれない心情になる。国や自治体が工賃アップを声高に叫んでも施設がこのような仕事を増やすことに積極性を発揮できない環境では発注量も伸びず、結果として障がい者の収入につながらないことになる。

では現状を改善していく為にどうすればよいのだろうか。施設の努力だけでなく行政の取り組みや企業の協力がますます必要とされているのではないだろうか。後編では行政や企業に今、何が期待されているかをレポートしたい。

## ～卒会者から君たちへ～

後藤公平 会員



入会以来貫き通してきたと自負する姿勢があります。「是々非々」がそれです。ただし、是を是と判断する、もしくは非を非と判断するのはとりも直さず個人の倫理観なので、30代の頃はその拙さゆえ随分失敗しました。(今もそう?)

同時に、単なる好悪や親疎に基準を置かないということは、平素の人間関係をフラットに戻すということとほぼ同義なので、案件によっては要らぬ軋轢を生じさせたり随分疎まれたりしたものです。

そんな扱いにくかった(であろう)私のふっかける議論に真剣かつ優しく付き合ってくれ、多くの気づきや反省を与えてくれた先輩たちにはただただ感謝しています。

今、卒会を控えておもうことは、「議論することから逃げてはいけない」「対立することを恐れてはいけない」ということです。100名からの組織、意見の相違や対立があるほうがむしろ自然です。個々が意思表示を行い、健全に(!)対立し、代案提示をもって折り合いをつけていく姿勢を身につけて欲しいとおもいます。

自らの立ち位置や振る舞いは年齢とともに変化していきますが、意思決定に係るプロセスに大きな変化はないとおもいます。団体名に「青年」を冠しているのなら、青臭く感情をぶつけ合うのも一興です。議論もどきで茶を濁したり議論もせず「相手の意を汲んで・・・」などと嘯いたりするようなことがあれば、それは若さへの背信です。

「新しき酒は新しき革袋に盛れ」と言いますが、所属する組織が新しき革袋たり得ているのかは絶えず自問する必要があるように感じます。

## 40周年記念事業委員会

40周年記念事業委員会提言部部長を務めさせて頂いています、赤井です。1月に行われましたアンケート現役会員の皆様、会員意識アンケートにご協力ありがとうございました。初のwebでのアンケートでしたが、非常に多くの意見を頂きました。提言部はこのアンケートを基に提言書を完成させていきます。提言は、過去から学び、受け継ぎ、新たな会のあり方や方向性を再確認したいと考え、議論の場を増やし、共有し、責任を持ち合い育てていく提言を部員の皆さんと一丸となって作成していきます。私事ですが、日々内容盛りだくさんの活動ではありますが、今まで知らなかったことが聞けたり、学べたりと周年事業を経験させて頂いています。悔いの残らぬよう40周年事業を楽しみながらやり遂げます。

この場をお借りしまして、提言部の活動に対し、資料提供並び意見を頂きました諸先輩の皆様ありがとうございます。

(40周年記念事業委員会提言部部長 赤井 宏之)

## 2月度委員会報告

### 絆委員会

平成26年2月10日(月) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター  
議題 / ・役員会報告 ・3月担当例会について  
・ファシリテーションについての勉強  
・会員拡大について ・その他

### ビジネス経営委員会

平成26年2月6日(木) 19:00～ 場所:ホテルアクシス  
議題 / ・役員会報告 ・会員拡大について  
・2月例会について ・会員拡大について ・その他

### 政治行政委員会

平成26年2月10日(月) 19:00～ 場所:鳥取県立武道館2階研修室2  
議題 / ・役員会報告 ・会員拡大について  
・事例発表(3事例 各15分) ・意見交換会 ・その他

### 広報委員会

平成26年2月7日(金) 19:00～ 場所:米子ニューアーバンホテル  
議題 / ・役員会報告 ・ハンサムについて ・会員拡大について  
・研修旅行について ・会員手帳について ・その他

### 総務委員会

平成26年2月6日(木) 19:00～ 場所:ふれあいの里  
議題 / ・役員会報告 ・新年例会の反省  
・4月レク例会について ・会員拡大について ・その他

### 40周年記念事業委員会

平成26年2月6日(木) 19:00～ 場所:炉端かば 米子店  
議題 / ・役員会報告 ・40周年事業について  
・会員拡大について ・その他



(広報委員会)

田中 猛 B型  
田中正夫建築設計事務所 米子事務所長  
住宅・店舗・公共建築の設計監理  
〒683-0824 米子市久米町143番地  
TEL 22-1656 FAX 22-2089  
(KT) 090-8064-7527  
(EM) mt24@eos.ocn.ne.jp

S 48.02生

## 新入会員

### (コメント)

山陰を中心に住宅・店舗・公共建築の設計監理をしております。本年より米子事務所長に就任しましたことを契機に、中央会に入会させていただきました。今後は様々な分野でご活躍されている会員の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りながら、精一杯勉強させていただきたいと思っております。



(総務委員会)

真山 浩二 A型  
真山フロリダ商事 店長  
室内装飾業  
〒683-0852 米子市河崎1540-2  
TEL 24-0337 FAX 29-2171  
(KT) 090-9676-6369  
(EM)

S 54.08生

### (コメント)

2月より入会させて頂きました、真山フロリダ商事の真山浩二と申します。米子でカーテン・クロスなど室内装飾全般の販売、施工を行っております。今後、中央会皆様の様々な経験を肌で感じ、吸収していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 3月役員会報告

3月役員会が平成26年3月3日(月)米子コンベンションセンターにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。  
・2月例会開催報告の件 ・3月例会開催の件  
・その他  
\*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

## 3月例会のご案内

とき:平成26年3月17日(月) 19:00～21:00  
ところ:ホテルサンルート米子  
内容:ワークショップ(仮)西部青年中央会版ワークショップの実践  
～中央会 未来のカたち～  
担当:第39期 絆委員会

## 編集後記

消費税が8%へ増税しますね。皆様、ご準備は進んでいますか?私は飲食店を営んでおりますので、メニューの金額設定に悩みます。税金とは言い、値上げはお客様にとって辛いものですね。より良いサービスの向上に努めることが大事ですね。休んでいる間はないぞ～!と自分に言い聞かせています・・・。(吉田)